



News Release

2024年11月28日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北海道支所

ホコリも積もれば事故となる ～年末は配線器具の掃除・チェックもお忘れなく～

1. 事故の発生状況

NITEに通知のあった製品事故情報^{*1}のうち、2019年度から2023年度までの5年間に発生した配線器具の事故は、北海道で合計5件ありました。

(1) 事故の被害状況

配線器具の被害状況別の製品事故発生件数を表1に示します。

表1 被害状況別の事故発生件数 (2019年度～2023年度) ^{※2※3}

被害状況		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	総計
人的被害	死亡	0	0	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0	0	0
物的被害	拡大被害	1	0	1[1]	0	3[3]	5[4]
	製品破損	0	0	0	0	0	0
総計		1	0	1[1]	0	3[3]	5[4]

(2) 製品別の事故発生件数

配線器具の製品別^{*4}の事故発生件数を表2に示します。

表2 製品別の事故発生件数 (2019年～2023年)

製品名	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	総計
テーブルタップ	1	0	1	0	2	4
延長コード	0	0	0	0	1	1
総計	1	0	1	0	3	5

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含みます。

(※2) 製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

(※3) []は火災件数。

(※4) テーブルタップは、電源プラグから差込口までが延長されており、複数の差込口を有するもの。延長コードは、電源プラグから差込口までが延長されており、差込口が一口のもの

2. 配線器具の事故事例

■ テーブルタップ

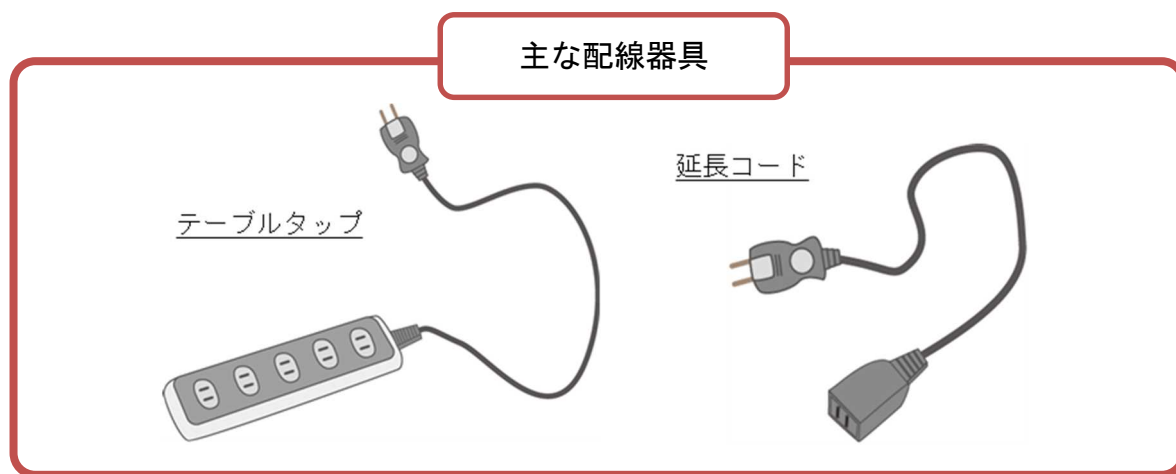
事故発生年月 2022年1月(北海道、60歳代・男性、拡大被害)

【事故の内容】

当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

当該製品は、刃受金具と個別スイッチ内の接点部間にある絶縁樹脂部でトラッキング現象が生じたため、異常発熱して出火に至ったものと考えられるが、焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。



3. 配線器具の事故を防ぐためのお掃除ポイント

- 電源プラグ及び電源タップは小まめに掃除し、水分がかからないようにする。
- 電源プラグが変形していないか確認する。
- 電源コードを引っ張る、机や椅子の脚で踏むなど、無理な力が加わった形跡を確認する。
- 接続可能な最大消費電力を超えて使っていないか確認する。
- 異常発熱や異臭など、異変を見つけたら直ちに使用を中止する。

4. 製品事故の実験映像について

製品事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者: 佐藤、長谷川

電話: 011-709-2324